

プレスリリース（仮訳）

監査監督機関国際フォーラム会合 2008年4月9-11日 於オスロ

2008年4月9日から11日に、22カ国の独立監査監督機関が、監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）の第3回会合に参加した。IFIARメンバーの詳細は、IFIARのウェブ・サイト www.ifiar.org を参照されたい。本会合は、ノルウェーの Kredittilsynet（ノルウェー金融監督庁）の主催により行われた。

本会合では、IFIAR議長ポール・ボイル英財務報告評議会（FRC）CEO及びIFIAR副議長スティーブン・マイヨール蘭金融市場庁（AFM）事務局長が議長を務めた。

証券監督者国際機構（IOSCO）、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）、保険監督者国際機構（IAIS）、公益監視委員会（PIOB）、世界銀行及び欧州委員会（EC）も4月10日にオブザーバーとして参加した。

4月11日には、アーンスト・アンド・ヤング、グラント・ソントン及びプライスウォーターハウスクーパースのグローバル組織のCEOに率いられた各組織の代表がIFIARに参加し、グローバル組織の品質モニタリング制度について各組織ごとに議論を行った。本年9月に開催される南アフリカでの次回IFIAR会合では、BDO、デロイト及びKPMGのグローバル組織のCEOをはじめとする各代表者と同様の議論を行う予定である。

新規参加国

ルクセンブルクの金融監督委員会（Commission de Surveillance du Secteur Financier : CSSF）及びモーリシャスの財務報告評議会（FRC）がIFIARのメンバーとして承認され、メンバー数は24カ国となった。

現在の市場の混乱

メンバーは、現在の市場の混乱に対する監査規制当局の役割を見直し、次回会合でメンバーの経験について議論することに合意した。

監査の品質

メンバーは、監査の品質に係る問題について意見交換を行った。メンバーは、引き続き監査の品質を示し得る指標について理解を深め、次回会合でその進展を検討することで合意した。

監査検査ワークショップ

監査検査は、IFIARが引き続き焦点を当てる中核分野である。2008年1月にベルリンで開催され成功裡に終わった第2回監査検査ワークショップに続き、IFIARは検査の技術及び経験を引き続き交換する機会を提供するために、次回ワークショップを2009年始めに開催することを決定した。

外国監査事務所の登録

メンバーは、多くの国で現在実施されている、あるいは間もなく実施される予定である外国発行体の監査人に対する登録及び/又は届出を求める措置について留意した。

監査規制当局間の情報交換

多くの国における法的要請の変更可能性に照らし、メンバーは国境を越えて行われるグループ監査及び国際的監査ネットワークの継続的な監視、調査及び執行活動に関する各国の規制当局間の情報交換に対する障害について引き続き検討を行う。

国際監査基準に関する課題

国際監査・保証基準審議会 (IAASB)のジョン・ケラス議長が、現在の作業計画及びIAASBの優先事項についてプレゼンテーションを行った。メンバーは、策定及び適用中の国際的な監査及び倫理基準について意見交換することの重要性について議論した。

監査市場における集中と選択

メンバーは、監査市場における集中と選択の問題を調査するために、いくつかの国で採られる措置に関する最新の情報の提供を受けた。

他の国際機関との対話

IFIAR は、各オブザーバーから監査の分野における取組みについて報告を受けた。今後も IFIAR は監査の品質に関心を有する他の国際機関と対話を行っていくこととした。

IFIAR の今後の役割と組織

オスロ会合に参加した IFIAR メンバーの代表者は、次回 9 月の IFIAR 会合で採択を予定している IFIAR 憲章文に同意した。

次回会合

IFIAR は、南アフリカの監査人独立監督委員会（IRBA）の招待により、次回会合を 2008 年 9 月 22 日から 24 日にケープタウンで開催する。